

Total Appreciate

総評

第14回福岡産業デザイン賞は、応募件数が昨年をさらに更新し、これまでで最多の174件(139社)となりました。審査は、本表彰制度を昨年度改正した賞の構成と審査方法によって行いました。賞の構成は、応募商品等の中で下記の6項目の審査の観点のいずれかにおいて優れたデザインを「福岡産業デザイン賞」に選定し、その中から特に優れた商品等を「福岡産業デザイン賞・優秀賞」に、さらに全受賞の中で最も優れた商品等に「福岡産業デザイン賞・大賞」を選考しました。ゲスト審査委員賞は、これまでと異なり県内の審査委員によって事前に選考された「福岡産業デザイン賞(優秀賞、大賞を含む)」候補の中から1件選出する方法に変更しました。今回のゲスト審査委員は、株式会社GKデザイン機構・相談役の田中一雄氏を招聘しました。県内の審査委員は、応募点数が増えた公開審査への対応も踏まえ昨年度比の1名増の17名(県内の実務家8名、大学等関係5名、流通関係4名)となりました。(P3参照)

「商品の市場性」「地域産業への影響力」「デザインの独創性・新規性・先導性」の選定基準と以下の審査の観点から審査を行いました。

◎伝統技術を活かすなど、地域に貢献している。

◎ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が高い。

◎技術面や機能面が優れている。

◎地球環境にやさしい、生活福祉の向上につながる。

◎新しいライフスタイルを提案している。

◎パッケージ等ユーザーとのインターフェイスに優れている。

審査は昨年度と同様に、各応募内容の事前確認と書類審査の1次審査を行い、展示会場においての2次審査を行いました。2次審査は、非公開で全商品等の書類および実物、概要パネルなどによる審査委員投票による審査を行い、上記の区分別に応募商品説明を受けながら審査委員からのコメントを含めた質疑応答による詳細な公開審査後、審査委員協議による賞の選考を行いました。特に今回は、これまで2日目に実施していた審査と審査委員協議を1日目に行うことで対応時間を永く確保しました。「福岡産業デザイン賞」候補44件が、非公開審査の得票数と公開審査のヒアリング結果

などに基づいて審査委員による協議を経て選出されました。そして、その中から優秀賞6件と大賞1件を選ぶとともに、県内デザイナーと県外企業との協働による特別部門賞の選出を行いました。ゲスト審査委員賞は前述のように、「福岡産業デザイン賞」候補の中からの選出です。

第14回福岡産業デザイン賞も魅力的なクオリティの高い応募商品が多く、約26% (受賞数45件/応募総数174件)の受賞率という激戦となりました。受賞数では、今年度も繊維・日用品(受賞17件(内、優秀賞1件、ゲスト審査委員賞1件))と食品(受賞13件(内、大賞1件、優秀賞2件))の受賞が多く、産業・商業機器(受賞8件(内、優秀賞2件))、そして家具・インテリア(内、優秀賞1件)と生活環境は、それぞれ受賞3件でした(別表参照)。特に、年々応募数が増加するとともにデザイン性も向上する繊維・日用品区分は、受賞件数も昨年に引き続き最多となっており、福岡デザインの質の高さを標榜する区分となってきたといえます。そして、昨年受賞件数が増えた食品区分は、今年度も多数受賞し大賞にも選ばれました。地域の人々が地域の食材を活かした創意工夫によって、魅力的な商材に結びつけた優れたデザインが今年も多かったといえます。また今回、応募件数の半数以上が受賞した産業・商業機器は、日用品や食品と並び安定した福岡デザインのオリジナリティの高さの証として特筆されます。家具・インテリア、生活環境の区分は、応募件数に比べやや受賞数が少ない傾向ですが、今年も受賞商品いずれもキラリと輝く“福岡らしさ”を感じさせる逸品揃いでした。

(別表)	応募区分	応募数	受賞数
1	生活環境	13	3
2	食品	59	13
3	繊維・日用品	63	17
4	家具・インテリア	24	3
5	紙製品・パッケージ	2	0
6	産業・商業機器	12	8
7	情報・サービス	0	0
8	特別部門	1	1
		174	45

大賞は、14回の中で食品区分での2度目となる柳川農業協同組合(JA柳川)「柳川まめマヨ」(デザイン:LOCAL&DESIGN株式会社)が選ばれました。県下一の生産量を誇る柳川産大豆

「フクユタカ」の豆乳を原料とした卵を使用しないコレステロールゼロ、保存料等無添加のヘルシーなマヨネーズ風ドレッシングを、「まめマヨ」のかわいいネーミングにふさわしいイラストと色使いのパッケージデザインで表現しています。パッケージ等のユーザーのインターフェイスにすぐれていることとともに、ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が高いことから大賞にふさわしいと高く評価されました。

優秀賞を受賞した6件は、図柄・記号を用いたデザインによって、パッケージだけでなくWebやチラシなどのプロモーションツールとしても活かされたすぐれたインターフェイスを創り出した「のりのりシリーズ」(江の浦海苔本舗、デザイン:株式会社カジグラ)、セロリを用いたやさしいロゴマークを用い、乾燥野菜のイメージを一新させる優れたパッケージデザインと地域特産によるビジネスの可能性を広げている「セロリズッペン」(セロリズッペン研究会、デザイン:TETUSIN DESIGN OFFICE)、博多織を活かしモバイル端末収納グッズなど現代的な博多織デザインに結びつけた「iPad & iPhone ケース・ネクタイ&ポケットチーフ」(博多テックスLLP、デザイン:ダーウィンLLP)、無駄をそぎ落としたシンプルな造形、置く場所にさりげなく調和し使うシーンもライフスタイルに合わせて広がる優れたデザインの「DAI SERIES」(株式会社オークマ、デザイン:DESIGN SHIP TORA)、耕耘作業における細部に至るまでデザインされており、畑仕事や家庭菜園などの楽しさを多くの方々に提供する「電動耕うん機 イービコ」(株式会社オーレック)、そして「モジュール型歩行器「ストライダー」(株)株式会社有蘭製作所、デザイン:北九州市立総合療育センター)が、長年の実績を基に、使用者の幅広いニーズに応えるための綿密かつ詳細にいたる製品開発による、地球環境に優しく生活福祉の向上につながるすぐれたデザインであると評価されました。今年度の大賞、優秀賞は、食品、日用品から家具、産業機器、福祉機器までわたしたちの生活環境をかたちづくる“福岡デザイン力”がよりいっそう幅広くレベルアップしてきた成果であったといえます。

デザイン活用とは、ユーザーの観点からのものづくりであり、生活イメージを機能(しくみ)と感性(造形やしかけ)の融合によって商品などの具体的な“かたち”に可視化し、事業に結びつけることです。福岡の地域資源を活かした独自の食を提案したデザインが大賞を受賞

し、また魅力的で独創性の高い「福岡文化」を創るデザインが多数選ばれるなど、今年度の受賞結果は、デザイン活用が福岡の文化・地域産業を牽引する役割を担えることをあらわしています。過去に受賞歴のある企業や、福岡県産業デザイン協議会が推進するデザイン開発ワークショップなどに参加実績のある企業が、今年度も多く受賞しました。このことは本表彰制度を含む福岡県のデザイン推進事業による「継続は力」の賜物です。今回は受賞を逃された企業も、デザイン活用による商品開発への積極的な取り組みが多くみられました。福岡から日本、そして世界へ発信できる“福岡らしさ”の地域ブランド創出をめざして、次年度も多数の意欲的な応募を期待しております。

審査委員長 森田 昌嗣
(九州大学大学院芸術工学研究院・教授)

Judges

審査委員

◎審査委員長
森田 昌嗣
九州大学大学院芸術工学研究院 教授
デザインディレクター
グッドデザイン賞審査委員

◎審査委員
青木 幹太
九州産業大学芸術学部デザイン学科 教授

赤坂 英典
株式会社井筒屋 取締役常務執行役員

石田 文明
福岡県産業デザイン協議会副会長
株式会社ディーライト 代表取締役

石村 一枝
福岡県産業デザイン協議会副会長
株式会社石村萬盛堂 取締役

大倉 紀子
株式会社ジャンスマリー 代表取締役

大庭 香代子
学校法人九州呉学園 日本デザイナー学院 校長

大歯 滋喜
福岡県産業デザイン協議会企画専門委員長
昭和鉄工株式会社 顧問

尾方 義人
九州大学大学院芸術工学研究院 准教授

かねこしんぞう
株式会社インデックスプラス 代表取締役

神谷 昌秀
福岡県工業技術センター 機械電子研究所 所長

重松 依江
株式会社宜研 代表取締役

津岡 卓央
株式会社インキューブ西鉄 取締役営業部長
兼天神店店長

難波 由子
株式会社ロフト 天神ロフト館長

藤田 雅俊
久留米工業高等専門学校 教授
産学民連携テクノセンター長

松下 美紀
株式会社松下美紀照明設計事務所 代表取締役

圓山 和久
株式会社東急ハンズ 博多店店長

◎ゲスト審査委員
田中 一雄
株式会社GKデザイン機構 相談役
公益財団法人日本デザイン振興会 理事

Award goods

受賞商品

【大賞】
□柳川まめマヨ / 食品

【優秀賞】
□江の浦海苔本舗「のりのりシリーズ」/ 食品
□セロリズッペン / 食品
□iPad & iPhone ケース・ネクタイ&ポケットチーフ / 繊維・日用品
□DAI SERIES / 家具・インテリア
□モジュール型歩行器「ストライダー」 / 産業・商業機器
□電動耕うん機 「e-pico」 / 産業・商業機器

【ゲスト審査委員賞】
□つくしの技のおもてなし / 繊維・日用品

【県内デザイナー×県外企業部門賞】
□fu-u<フェイスバックロケーション> / 特別部門

【入賞】
□撃退ドットマン / 生活環境
□ナルックス・ソーラーフットライト / 生活環境
□紙空庵 / 生活環境
□本町834サイダー / 食品
□カップインコーヒードリップ / 食品
□くばら うま鍋シリーズ(キャベツのうま鍋/もやしのうま鍋/はくさいのうま鍋) / 食品
□のりネー酥 / 食品

□わさどれ。(みそ、白) / かけるわさび 辛香。 / 食品
□福岡県朝倉特産 三奈木砂糖 / 食品
□博多豪商® 武士の台所 / 食品
□カードプライス キューブプライス / 食品
□スプレーしゅうゆ 塩分0%仕込み醤油ソイゼロ / 食品
□柳川ご馳走ソース・柳川小悪魔ソース / 食品
□ASAHI Walk Land 「WLD M015GT」「WLD M016GT」 / 繊維・日用品
□洗濯物干しカバー 「マジカルカバー」(花玉) / 繊維・日用品

□ウーリーズ 白磁とフェルトのカフェポウル(和の重ねの色目シリーズ) / 繊維・日用品
□foret レタースタンド・カードスタンド / 繊維・日用品
□ON THE TOPS / 繊維・日用品
□むくりスプーン / 繊維・日用品
□テキスタイル長尾が創る NAGAO TWEED BAG / 繊維・日用品
□ハッピーストライプストール、献上ストライプストール / 繊維・日用品

□codomono project / 繊維・日用品
□Tureデンティフィスジェル / 繊維・日用品
□NOSWITCH for Kids / 繊維・日用品
□きなりな / 繊維・日用品
□HAKATIMES / 繊維・日用品
□KaraKuri シリーズ / 繊維・日用品
□モイスト・コート タッチ004 / 繊維・日用品
□engrave / 家具・インテリア
□Drop / 家具・インテリア

□PCL86シングルステレオパワーアンプキット / 産業・商業機器
□ハイブリッド真空管アンプキット / 産業・商業機器
□Kaidan Satto / 産業・商業機器
□JOGOSPEAKER MB-2 BOOK / 産業・商業機器
□SMACON / 産業・商業機器
□足圧モニターインソールPiT[ピット] / 産業・商業機器

Grand Prix

大賞

1 食品

柳川まめマヨ

c/柳川農業協同組合
d/LOCAL&DESIGN 株式会社



今年の大賞は、福岡県下の生産量を誇る柳川産大豆「フクユタカ」の豆乳を原料とした保存料、着色料、化学調味料無添加、さらに卵を使用しないコレステロールゼロのヘルシーなマヨネーズ風ドレッシングです。化学調味料を使わず風味と食感もマヨネーズに限りなく近づけるための試作を繰り返し、保存料等無添加とするために要冷蔵にもこだわり、できるだけ早めに食べきるように、またお弁当などにも持って行きやすい160gの小さめの容器を選んでいきます。その容器に

は、あえてソフトチューブを用いてマヨネーズの代用品を喚起していることは、奇をてらわず商品の持ち味を的確に伝えていきます。さらに「まめマヨ」のかわいいネーミングにふさわしいイラストと色使いのパッケージデザインは、商品の「柳川の野菜をさらにおいしく食べてもらいたい」と「お野菜大好き応援団」コンセプトを表現しています。すでに柳川ブランドショップ「おいでメッセ柳川」の売れ筋商品となっており、運営する商店街の活性化にも結びついているようです。また大

豆「フクユタカ」とともに、アスパラガスやオクラ、ソラマメなどの一大野菜産地として柳川のPRに貢献するなど、地域の食の魅力を広く伝える役割も担っています。以上のように、「柳川まめマヨ」は、商材の魅力を清々しく伝えるネーミング、パッケージ、プロモーションなどのユーザーのインターフェイスにすぐれていることとともに、地域ビジネスの可能性を広げ、その波及効果が高いことから大賞にふさわしいと高く評価されました。(講評/森田 昌嗣)

Excellent Prize

優秀賞

2 食品

江の浦海苔本舗
「のりのりシリーズ」

c/江の浦海苔本舗
d/株式会社 カジクラ

海苔の特性がシンプルに力強く表現されたデザインが素晴らしい。不必要な高級感や過剰包装をせずとも存在感があり、自己主張しすぎない立ち位置を心得ており、日常にある非日常さがとても新鮮に感じました。極力色数を抑え、白黒で割り切った潔さと手書きの何とも言えない暖かさが、商品のさらなる洗練性と魅力的な世界観を創り出すことで、ブランドとしての存在感を際立たせています。海苔の本質を見だし、商品内容にまでさらなる修正をかけて、購入層が欲しくなるような付加価値を持った商品に上手くりニューアルされています。見た瞬間に“買ってみたいな”と思わせてしまうデザインの魔力と、当社がこだわられた海苔本来のおいしさに脱帽です。(講評/石田 文明)



Excellent Prize

優秀賞

3 食品

セロリズッペン

c/セロリズッペン研究会
d/TETUSIN DESIGN OFFICE

福岡県瀬高町は国内三大セロリの産地。生でしか流通できなかったセロリを多くの方に手軽な食材として提供したいという主婦の知恵が生み出した一品。ヒントは、「ズッペンゲミューゼ(ドイツ語で野菜で作ったスープのだし)」。ドイツでは、数種類の乾燥野菜をスープに加えて、我が家の味を出すそうだ。セロリをベースにたまねぎ、ニンジン、しめじやエリンギなどの地元野菜をブレンドし、カレーやシチュー、炊き込みご飯、肉魚料理など幅広い料理に利用できることも好評を得た。セロリのロゴマークを配したシンプルなラベルは野菜を引き立たせ、簡単なレシピもついて、審査員の高い評価を得た。3種類のブレンドがあり、お遣い物としても好適。(講評/赤坂 英典)



Excellent Prize

優秀賞

4 繊維・日用品

iPad & iPhone ケース・
ネクタイ & ポケットチーフ

c/博多テックス 有限責任事業組合
d/ダーウィン 有限責任事業組合

伝統的工芸品の博多織生地を利用したモバイルケースの展開商品と斬新なデザインのネクタイとポケットチーフ。モバイルケースは2種類のデザインがあり、安全性重視のチャック式、もしくは使いやすい重視の袋式で、選ぶ人のニーズを考慮して展開されている。シルク独自の質感が手に感触良く、硬質なモバイル機器を上質に包んで守ってくれる。色の選択も美しくユニセックスで選べる。ネクタイとポケットチーフは、博多織柄の一部をコラージュしたもので、黒とグレーのシックなデザインである。斬新なデザインにも関わらず、若い方から年配の方と年齢に関係なく締められる優れたデザイン性が高く評価された。

(講評/松下 美紀)



Excellent Prize

優秀賞

6 産業・商業機器

モジュール型歩行器
「ストライダー」

c/株式会社 有園製作所
d/北九州市立総合療育センター

長年、肢体不自由児の歩行器の製造販売に取り組んできた当社が、その経験を基に「エコで多機能」をコンセプトにして、次世代歩行器という位置づけで開発した製品である。特徴は工具なしで57種類に及ぶ歩行器に組み替えができることであり、その結果、体格や体型、障害の種類や程度によって多様な特性をもつ肢体不自由児に応じて、製品を組み替え対応することができるようになっている。また部品の交換やリユースなども簡便化し、利用者の利便性を高めている。製品の外観は、歩行器の主要構造となるメインフレームに躍動感を持たせ、使用する肢体不自由児の足の動きがみやすいフォルムにするなど、デザイン性と機能性に優れた製品である。

(講評/青木 幹太)



Excellent Prize

優秀賞

5 家具・インテリア

DAI SERIES

c/株式会社 オークマ
d/DESIGN SHIP TORA

毎年完成度の高い製品で応募しているオークマの多機能ツールの提案。座る・腰かける・物を置く・飾る・踏み台にする。ユーザーが使用する上で、アイデアを誘発することを企図したデザインは、昨年度の「フレーム」から一貫したコンセプトとなっている。精度の高い継手の処理や、材質の特徴を活かした構造的な造形はこの企業の特徴となっている。造形的なコンセプトを徹底することで、商品としての特徴がより強化されると思われる。プロポーションやディテールにオークマらしい個性が生まれつつあるように感じられる。コンセプトを大切に、妥協しない完成度を目指した商品づくりに取り組んでほしい。

(講評/藤田 雅俊)



Excellent Prize

優秀賞

7 産業・商業機器

電動耕うん機
「e-pico」

c/株式会社 オーレック

女性でも簡単に持ち運べ、メンテナンス不要の電子制御付き電動耕うん機。家電感覚で電源スイッチを入れ、ハンドルレバーを握れば、簡単に耕うんを開始できる。始動時はゆっくりと安全に爪が回転し始め、石や草などの噛み込みによる過負荷時は警報音で知らせたり、停止する。バックもできるなど、業界初の電子制御化したことによって、これまでにない高い操作性と機能性、耕うん性能を実現している。また、耕うんに必要な重さは確保しつつ、重いバッテリーを外せば女性や高齢者でも軽自動車に積むことができ、外装は角をとった流線形の美しいデザインにするなど、畑作業を楽しく感じ、しかも簡単に作業ができるような工夫が随所になされていることが高く評価された。(講評/神谷 昌秀)



Guest examination committee Prize

ゲスト審査委員賞

8 繊維・日用品

つくしの技のおもてなし

c/つくしの技のおもてなしグループ
d/白

今回、福岡産業デザイン賞の審査に参加し、改めて福岡の「熱気」に感動した。そこには、モノ創りへの熱い思いが溢れていたからだ。ゲスト審査員賞として選ばせて頂いた「つくし乃技のおもてなし」は、そうした商品群のなかでも、極めて高いクオリティを示していた。福岡の伝統産業である博多織のコースター、小石原焼の器、そして本格焼酎という取り合わせが、見事にマッチングしている。まさに酒を楽しむ風景がそこにある。この三種を品よく精緻なパッケージが包み、お互いの魅力をより一層高めている。一目見ただけで「欲しい!」と思わせるデザイン。まさに、完璧なギフトのデザインがそこにある。
(講評/田中 一雄)



Design Prize

入賞

10 生活環境

撃退ドットマン

c/株式会社 井口



住宅や工場、果樹園など多くの場所で、ガラスや鳩などによって発生している鳥害を対策する商品。3Dレンズパネルを用いたデザインとすることで、目の焦点が合わないようになり、「見たくない」と認識させることで、鳥を撃退する大変ユニークな機能を実現している。色や柄、大きさ、厚さ、取り付け方法など、多くの種類をシリーズ化しており、今後の市場拡大が期待できる。
(講評/神谷 昌秀)

11 生活環境

ナルックス・ソーラーフットライト

c/株式会社 ナベシマ
d/株式会社 タイム&ガーデン



夜間や停電時にソフトな光で足元を照らし、昼間は車道と歩道の境界となるポラードも兼ねるLEDフットライト。配光効率を高めるため、複数のLEDとステンレス板の配置や景観にマッチするように、ポラード表面を御影石調に研磨するなどの工夫が優れている。LEDの色調やポラードの大きさをシリーズ化し、太陽光発電と合せて、メンテナンスフリーを実現した商品となっている。
(講評/神谷 昌秀)

12 生活環境

紙空庵

c/株式会社 寶章堂、株式会社VSQ
d/文化デザイン研究所 豊田宏二



手軽に組み立てられる紙で作られた、小間2帖の本格的な茶室。一般的な住宅内やイベント会場に設置できるように、床や天井など、8つのユニットに分割し、1人で運べるように大きさや重量の工夫があり、1時間程度で組み立てることが可能。日本文化である茶を身近にと言う基本コンセプトのもと、スリットから外光の導入やペーパーハニカムボードの素材感を活かしたデザインが評価された。
(講評/神谷 昌秀)

Special category Prize

県内デザイナー × 県外企業部門賞

9 特別部門

fu-u
フェイスパックローション

c/株式会社 地の塩社
d/白

長年地域の生産者との協力により開発してきた農業や化学肥料を一切使用しないヘチマ水をベースにした自然化粧品。ヘチマ水の古いイメージを払拭するために、自然のさわやかとやさしさをロゴデザイン、パッケージデザイン、そして販促ツールデザインによってブランドイメージを表現しています。ブランドをユーザーに伝えるインターフェイスに優れているとともに地域のビジネスを拓く可能性を感じさせるトータルデザインといえます。
(講評/森田 昌嗣)



13 食品

本町834サイダー

c/ウメノ商店
d/くろくも舎



八女の水のうまみとほのかな甘みで透明感ある微炭酸なサイダーを、地元の切り絵作家さんのラベルで昭和の時代を思い出すような懐かしさとやさしさを十分に表現。834とは八女市の郵便番号であり、記号化したことで商品にインパクトがあり、地元の特性を上手く可視化出来ているところが評価された。今後、どのように地元へ愛される商品に育っていくのかとても楽しみな商品。
(講評/石田 文明)

14 食品

カップインコーヒードリップ

c/オアシス珈琲 有限会社



連続した網飾りの切り口が美しく、袋の片方を2重構造にする事でお湯を注いでも粉がこぼれない。利便性だけではなく、美味しさを追求した究極の形が、機能性を持つ美しいデザインとなってドリップコーヒーのさらなる魅力を提案している商品。企業としてのコーヒーに対する想いをきちんと商品で可視化し、研究しつづける熱い姿勢が感じられ、とても好感もてる。
(講評/石田 文明)

15 ジャンル

くばら うま鍋シリーズ

(キャベツのうま鍋/もやしのうま鍋/はくさいのうま鍋)

c/株式会社 くばらコーポレーション
d/有限会社 ブランニングbios



鍋のスープはたくさん発売されていますが、野菜に特化した企画がユニークです。野菜が健康に良いのは誰も分かっているけれど、鍋でたっぷり美味しくいただけるのはありがたい! スープの量も多めで、シメまで調理の仕方が分かり易く表示しており、消費者の立場を考えた親切な商品と言えます。パッケージも清潔感があり、情報の整理もされて見やすく、メーカーの誠意が感じられます。(講評/大庭 香代子)

Design Prize

入賞

16 食品

のりネー酢*

c/ 有限会社 清柳食産
d/ 柳川肉匠職人



消費者を引きつける要素としてネーミングは不可欠です。商品の開発においての商品アイデアと味の特質をいかに訴求するかという、本質を「のりネー酢」という分かりやすいネーミングにまとめた上げた企画力が大きく評価された。地産地発として柳川地元産にこだわった甘海苔やお米や無添加無着色醤油などの原材料を使用。卵を使わないアレルギーにも配慮をした、生活目線の商品開発でした。(講評/かねこしんぞう)

17 食品

わさどれ。(みそ、白)
かけるわさび 辛香。

c/ 株式会社 ゼックフィールド



「料理の味を、活かすも殺すも薬味次第」ということばがあります。日本料理が世界で愛されるようになって以来、日本の食材や薬味の調味料の可能性は世界単位になっています。佐賀県七山村産の葉わさびを原料に作られたドレッシングと、タバスコ風調味料。和食やフレンチなどの洋食にも活かされる風味豊かな味と、食卓での使いやすさを考慮したパッケージで、魅力的な商品になっている。(講評/かねこしんぞう)

18 食品

福岡県朝倉特産
三奈木砂糖

c/ 床島屋製菓 株式会社
d/ 有限会社 アドボックス



自然派志向の顧客の要望から生まれた手土産パッケージ。一度途絶えた朝倉特産の三奈木砂糖の復活をかけ、昔ながらの製法で美味しさを守り続けるメーカーの想いが伝わってくる。あえて既製の容器を使い黒糖の素材感を際立たせるシンプルで洗練された容器や、更にグレードアップした桐箱入りの贈答用ギフトは商品のコンセプトにマッチして品があり、デザイン性が高く評価された。(講評/重松 依江)

22 食品

柳川ご馳走ソース
柳川小悪魔ソース

c/ 柳川農業協同組合
d/ LOCAL&DESIGN 株式会社



形や色が不揃いで市場に出荷できなかつた柳川特産の野菜を使用して作られた商品。ソースに仕上げた斬新な野菜との組み合わせが見事。「小悪魔ソース」と銘打った材料は「あまおうと激辛ハバネロ」、「ご馳走ソース」は県下有数の生産量を誇る「ナス」を40%使用。市場が今求めている味に仕上がっている完成度の高い商品。透明なパッケージも清潔感がある。(講評/石村 一枝)

23 繊維・日用品

ASAHI Walk Land
「WLD M015GT」「WLD M016GT」

c/ 株式会社 アサヒコーポレーション



創業以来、作り続けている「地下足袋」をベースに、ヤング〜アダルト層を対象ユーザーに想定して現代風にアレンジした商品である。足と靴をフィットさせる構造で裸足に近い環境を生み出すとともに、素材に防水性・透湿性に優れたGORE-TEXを、インソールに独自開発の可動式鼻緒インソールを使用することで、快適な履き心地と足の健康に配慮されている。日本製への拘りにも共感が持てる。(講評/青木 幹太)

24 繊維・日用品

洗濯物干しカバー
「マジカルカバー」(花玉)

c/ 池田設計・企画
d/ アイクォーク 株式会社



外干しの洗濯物の上から被せて使い、雨だけでなくアレルギーの原因となる花粉、黄砂や色落ちの原因となる紫外線から大切な衣類を守ります。衣類自体が隠れるので、他人の視線からプライバシーも守られるという大変ユニークな商品。太陽の熱を吸収しやすく、且つ水蒸気の通過を促すよう黒色花玉柄を採用するなど、商品の性能を高める工夫が随所に取り入れられています。(講評/圓山 和久)

19 食品

博多豪商®
武士の台所

c/ 有限会社 ハーバルサンケイ



「武士の台所」というネーミングの面白さが興味をそそる。さらに鰹節、味噌といった本来台所の脇役である伝統食材を卓上匏や小石原焼の壺とのセットで存在感のあるギフトとして、こだわりのあるアクティブミドルの心をつかむ逸品に仕立てたアイデアが評価された。今後も食のエンターテインメント性という付加価値から顧客満足を生み出し、単なる価格競争に負けない商材展開を期待したい。(講評/重松 依江)

20 食品

カードプライス・キューブプライス

c/ 合資会社 土師物産



真空パックにすることで鮮度を保ち、変わらぬ美味しいご飯が食べられる。少量故に各地のブランド米が楽しめる。キューブ型・カード型の収納しやすいパッケージ。価格帯も買いやすく、お米の魅力が満載の商品に仕上がっている。売場所や組み合わせる素材によっても大きく変化する楽しみな商品である。新しいオシャレなプレゼントのアイテム登場と捉えたい。(講評/石村 一枝)

21 食品

スプレーしょうゆ
塩分0%仕込み醤油 ソイゼロ

c/ 有限会社 モビリオ



商品アイデアはユニークに見えても技術が伴わなければならないのは当然です。グルメの発展した料理の世界はいろいろな新しい調理や味付けの試みがなされていますが、醤油をスプレーで食材にかけると云う、一見すぐ出来そうで、実現が難しかった課題に挑戦をして完成した商品でした。高度なナノ技術を使い、成分のノズルの目詰まりを克服して調味料の新しい領域を広げる企業の探求心を評価しました。(講評/かねこしんぞう)

25 繊維・日用品

ウーリーズ 白磁とフェルトの
カフェボウル(和の重ねの色目シリーズ)

c/ 英一郎製磁、社団法人日本羊毛フェルト協会
d/ 色彩総合研究所 色染



白磁のカップとフェルトのホルダーを組み合わせた意外性のあるアイデアが評価された。冷たいイメージの白磁がフェルト素材をコーディネートさせる事で、驚く程暖かい表情をみせている。羊毛の素材感を活かしたカラーリングも上手い。ただフェルトは保温効果に優れてはいるものの、冬素材のイメージが強く、販売シーズンが限定されそう。次回は夏向き素材にもトライしてみてもどうだろう。(講評/大倉 紀子)

26 繊維・日用品

foret
レタースタンド・カードスタンド

c/ 株式会社 三松
d/ 明石理沙



第2回三松アイデアコンペティション最優秀賞に選ばれたデザイン。リビング福岡とのコラボ企画「リビング商品研究室」の読者と協力して商品化しました。日常生活の中のちょっとした不便を解消した商品ですが、福岡デザイン専門学校で学生らしいかわいい動物のモチーフが特徴です。またステンレス製ですので郵便物をしっかりと纏めることができる上、マグネットでメモを貼れて、機能面でもすぐれています。(講評/難波 由子)

27 繊維・日用品

ON THE TOPS

c/ 株式会社 SING



最初に惹きつけられたのは「サイズ」である。一人用から対応可能で電子レンジ利用者にとってはとても嬉しい。しかもコンパクト収納が可能な「機能性」は、消費者を十分意識しており説得力がある。加えてシリコンゴム(久留米)とボンチャイナ(有田)の組み合わせは、地域発展の可能性をも秘めた取り組みである。色と価格の工夫により市場での需要喚起が見込まれ、今後が楽しみである。(講評/津岡 卓史)

Design Prize

入賞

28 繊維・日用品

むくりスプーン

c/スナオラボ



機能もデザイン性にも優れた子供用の木製のスプーン。テーブルに置く時もスプーンの先端の部分が上手に浮かぶように作られていてテーブルも汚さず、子供にも安心。子供の動作を考慮して持ちやすく、口元に運びやすいように作られたスプーンのえの角度も絶好です。子供がむっくりと起き上がったフォルムに似ているところから名付けられた「むくり」というネーミングにも愛情が溢れている。(講評/大倉 紀子)

31 繊維・日用品

codomono project

c/ブルーバズデザイン 株式会社



これまでの「codomono project」の8点の商品を基盤としたプロジェクトとしての受賞。「わたしたちは365日ドコモといっしょで、ママをしています」のもと、子どものための洗練された商品です。このような活動は、本来のモノづくりのユーザーは誰なのかを気づかせてくれ、前例や思い込みには陥りがちな商品開発の課題も示してくれました。様々な業種がヒントにできる活動形態です。(講評/尾方 義人)

29 繊維・日用品

テキスタイル長尾が創る
NAGAO TWEED BAG

c/染織長尾
d/株式会社 サイ



天然の素材として古くから日本で栽培されてきた苧麻糸を中心に、スウェーディッシュリネンやジュートなどの素材を織り込み、ハンドメイドでシンプルな織り組織で仕上げられた手仕事のバッグシリーズである。素材の表面はしっかりと撚糸された糸で打ち込まれ、堅牢度の高い染色、とって使用された皮革やキュブラ仕様の内張りなど、高級感や存在感を感じさせるデザインに仕上がっている。(講評/青木 幹太)

32 繊維・日用品

Ture デンティフリスジェル

c/株式会社 プレシャス スタイル
d/D-MAGIC



歯科医師が開発・監修し「歯磨きではなくオーラルビューティケア」をコンセプトに開発された商品である。歯周病や口臭の原因となる口内菌の繁殖を抑え、口の健康美を保つ口腔化粧品という新しいジャンルの商品である。パッケージ・チューブデザインは、セレブリティな女性をイメージし、歯のキレイさを表わす白を基調に、商品ロゴをシルバーで表記し、ビューアなイメージに仕上がっている。(講評/青木 幹太)

30 繊維・日用品

ハッピーストライプストール
献上ストライプストール

c/西村織物 株式会社



絹を草木染めにより透明感のあるストールに仕上げている。シンプルなストライプタイプと、博多献上柄をカシミア織で二重に織り込みストライプ的に仕上げた高い技術により、プレミアム感のある、品の良い商品となっている。絹の肌触りやその軽さは、大人のアイテムとして和装・洋装、フォーマル・カジュアルを問わず使用できそうである。高い技術をさりげなく意匠化した点が評価された。(講評/藤田 雅俊)

33 繊維・日用品

NOSWITCH for Kids

c/株式会社 マイサ



ノースイッチというコンセプト商品の子供向けの展開です。従来からの蓄光素材に加え、子供向けへの真鍮笛の改良や道路標識にも利用されている高輝度反射シート・キーホルダー・ミニリールキーなどを付加しあらゆる側面から子どもの安全を考えています。パッケージも子ども向けになり、楽しさがより増えています。コンセプトが商品展開を促すという好例で次の展開も大いに期待できます。(講評/尾方 義人)

34 繊維・日用品

きなりな

c/宮原タオル 株式会社
d/mao graphics 黒瀬美紀子



本来、綿は黄味がかかった色をしているため漂白工程を通して真っ白に仕上げるのが通常。しかし、このきなりなシリーズはあえて漂白しない素材を使って、人に優しいガーゼやタオルを提案し続けている。今回は、このキナリ素材で作ったガーゼマスクと100%天然の精油をコーディネートして新たなパッケージギフトにまとめあげたのが特徴。贈る側ももらう側も心が優しくなりそうな作品。(講評/大倉 紀子)

37 繊維・日用品

モイスト・コート タッチ004

c/株式会社 ワールドグローブ
d/シロクロ



保湿力や通気性などの機能が充実したモイストコートに更に発展させた商品です。保湿のためのカラーゲン糸に導電糸をプラスして、スマートフォンやタブレットも非装着時と全く変わらず操作出来ます。優れたファッション性とパッケージ・グラフィックスのデザインも、すべてが適切に融合されています。またビジネスのスタイルやモデルも地場の企業に参考になる素晴らしい商品開発です。(講評/尾方 義人)

35 繊維・日用品

HAKATIMES

c/森山貫山窯
d/トライシンク



小石原焼の土の味わいを残しながら、新しいライフスタイルに挑むキッチンツール・シリーズ。トータルなデザインコントロールが徹底しており、パッケージを含めて可能性を感じさせる商品群となっている。特にドリッパーは秀逸なデザインとなっており、個人的に高い評価をしたい。色彩もシンプルなものとなっていることから、新しい小石原焼のファンの開拓が期待される。(講評/藤田 雅俊)

38 家具・インテリア

engrave

c/株式会社 エレガントウッドコーポレーション
d/松本意匠



公共空間用の立体アートパネルをフレームに納めて、簡単に壁にかけて楽しむ立体アートフレーム。奥行き感のある曲線は機械加工の規則性と手彫りの不規則性を併せた美しさを持っている。見る角度や照明のあたり方で違った表情を醸しだし、二面性の美しさを表現できる。難易度の高い技術をアートとして販売することで、技術のスキルアップと商品としての可能性が期待される。(講評/松下 美紀)

36 繊維・日用品

KaraKuri シリーズ

c/合資会社 ローリング
d/トライシンク



昭和30年台の「久留米絨」「作業衣料」をルーツに、現代にあった技術開発・商品開発・チャンネル開発を地道に行なってきた大きな成果といえる商品群です。働くための衣料には、仕事に応じた機能性や耐久性はもちろん求められていますが、さらにいつも着たいと思うような愛着や安心感が大切です。それらをやさしくまとうこの商品は歴史と技術と気持ちが優しくささえています。(講評/尾方 義人)

39 家具・インテリア

Drop

c/東洋ステンレス研磨工業 株式会社
d/関光デザイン事務所



零型をしたステンレスを鏡面研磨し、サンタリーなどで利用を想定したメタルミラー。ステンレスの鏡はパブリック空間での用途はあったが、品質を高め、優美な形状検討を行ったことで、一般コンシューマー向けの市場の開拓を目指した商品である。シンプルな折り曲げによる小物置きを一体成型した。フォルムの展開にはまだまだ多くの可能性があることから、今後の商品展開にも期待が持てる。(講評/藤田 雅俊)

Design Prize

入賞

40 産業・商業機器

PCL86 シングルステレオ パワーアンプキット

c/株式会社 イーケイジャパン



本格的な真空管オーディオアンプを小型・軽量化したパワーアンプキット。わずらわしい配線もなく、初心者でも半日程度で組み立てられる「ものづくりの楽しさ」と、やけど防止カバーに音符と五線をモチーフにしたデザインの工夫がある。PCや音楽プレーヤーとの接続が可能となっており、板金筐体と真空管を強くイメージしたシンプルなデザインが素晴らしい。

(講評/神谷 昌秀)

41 産業・商業機器

ハイブリッド真空管アンプキット

c/株式会社 イーケイジャパン



真空管とデジタルアンプをハイブリッド化したオーディオアンプキット。古典的でマニアックな真空管と最新技術のデジタルを組合せ、PCや音楽プレーヤーとの接続が可能となっている。真空管の雰囲気や音楽だけでなく、ものづくりの楽しさを感じられる工夫や、現代のライフスタイルにマッチしてデスクトップに置けるように、CDケースの大きさにデザインされている点が高く評価される。

(講評/神谷 昌秀)

42 産業・商業機器

Kaidan Satto

c/ジュンコンサルタント



災害の発生時に、マンションや老人施設などの階段を使い、歩行困難者を一人で救出できる簡易型階段避難車。女性でも取扱いできるように軽量で、ワンタッチで開閉できる構造や階段の途中で手が離れても自然停止するなどの工夫が成されており、大変優れた機能を実現している。また、乗車者に不安感を与えないように配慮されており、防災/介護用品として実用性が高い商品になっている。

(講評/神谷 昌秀)

43 産業・商業機器

JOGOSPEAKER MB-2 BOOK

c/城後仏壇店
d/株式会社 デザインプログラム



本体両面にスピーカーを配置したオリジナル設計で、広大な音場感を楽しめ、小型で置き場所を選ばない、手ごろな価格の本格的ワンボックス型スピーカー。背圧の影響を受け難く、吸音材を必要とせず、高い質感を実現している。また、本体や支柱には、無垢材と地元の伝統工芸品である八女福島仏壇の手塗り漆技術を用いたムード感あふれるデザインが高く評価された。

(講評/神谷 昌秀)

44 産業・商業機器

SMACON

c/株式会社 シンテック



利用拡大が進むスマートフォンのゲーム用コントローラ。画面表示されるスイッチを全てコントローラ側にし、快適にゲームを楽しめます。手のホールド感に優れ、付属の専用クリップでスマートフォンとの一体操作や分離操作、テレビに表示するリモート操作ができ、高い機能性を実現しています。国内だけでなく、海外販売も前提としたグローバルなデザイン性も高く評価されました。

(講評/森田 昌嗣)

45 産業・商業機器

足圧モニターインソール

PiT[ピット]

c/リーフ 株式会社
d/プロダクトデザインスタジオ dpi



リハビリテーションでの歩行訓練で、指導目安となる足圧データを計測・評価・管理できる機能回復訓練機器。センサーを内蔵したインソールをシューズへ挿入し、足裏の荷重や位置、踏み出しなどのデータを無線通信でパソコンやハンディモニターに表示する。ピッピッというリズム音で、楽しく・やりがいを感じさせる工夫やデザインに優しさがあり、価格面も高く評価できる。

(講評/神谷 昌秀)

Outline

概要

◎福岡産業デザイン賞開催主旨

売れる商品を開発する上で、デザインの果たす役割はますます重要になっています。福岡産業デザイン賞は、企業のデザイン力の向上と生活者のデザインマインドの高揚を目的に、県内で生産された商品の中から、オリジナリティと市場性を有する、デザインの優れた商品を表彰・推奨するもので、平成11年度から実施しています。

◎開催日/平成24年10月16日[火]・17日[水]

◎会場/アクロス福岡 イベントホール・円形ホール
(福岡市中央区天神1-1-1)

◎主催/福岡県・福岡県産業デザイン協議会

◎応募資格/福岡県内に事業所を置く中小企業及び地場中堅企業
(※地場中堅企業・・・県内に本社がある資本金30億円以下の企業)

◎応募対象/福岡県内の企業が製造又は販売している商品で反復生産が可能なもの(部品も含む)。ただし概ね5年以内にデザインされたもので現在販売されているもの、あるいは今年度中に販売予定のもの。

◎プログラム

1日目/10月16日[火]

13:30→18:00 公開審査・応募商品展示会

18:30→19:30 交流会

2日目/10月17日[水]

10:00→18:00 応募商品展示会

15:00→15:30 各賞発表・表彰式

16:15→17:15 特別講演

テーマ「デザインが創造する価値」

講師 田中 一雄 氏

株式会社GKデザイン機構 相談役

◎事務局

福岡県産業デザイン協議会

(福岡県商工部新産業・技術振興課)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7-7

TEL 092-643-3435 FAX 092-643-3436

E-mail design-1@fida.jp

URL <http://fida.jp/>